



南河原中だより

平成30年3月1日発行 第11号 行田市立南河原中学校 TEL 048-557-0131

学校教育目標

正しく判断し実践する生徒
「学び」に努力する生徒
心身ともに健康な生徒

平昌オリンピック 日本選手団の活躍に勇気と感動をいただきました！

校長 池野 透

ご多用の中、保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。裏面に集計結果と成果、課題について掲載しましたのでご覧ください。

今後とも本校の教育活動について一層のご理解・ご協力をお願いいたします。



剪定されたポプラ

さて、2月、平昌で開催された冬季オリンピックにおいて日本選手団は、金4個、銀5個、銅4個史上最多13個のメダルを獲得し大活躍しました。とりわけ、大会直前の大けがから這い上がり、見事復活を遂げた男子フィギュア羽生結弦選手のSP、フリーの気迫あふれる演技は日本中を歓喜の渦に包み込み、国民に大きな感動と勇気を与えました。昨年11月、右足関節外側靭帯損傷により、2ヶ月間リンクに立てず、しかも4回転ジャンプの練習は2月に入ってからだそうです。そんな逆境の中、よくぞ本番の大舞台でたくさんのプレッシャーをはねのけ堂々の演技を披露し金メダルを獲得しました。その精神力の凄さに圧倒されました。

2人目は、女子500mで金、1000mで銀メダルの小平奈緒選手です。彼女は前回のソチでは期待されながらもメダルを獲ることはできませんでした。自らの精神的なひ弱さを克服し攻撃的なフォーム改善を目指し、単身、本場オランダへ武者修行に出かけました。彼女は自分を常に追い込み、精進する中で今回、悲願の金メダルを獲得しました。同様に3人目、高木美帆選手は、15歳で天才と騒がれ出場したバンクーバーの後、次のソチには出場することができませんでした。その屈辱をバネに本気になって猛練習をこなして今回、1500mで銀、1000mで銅、そして、女子団体追い抜きで姉高木菜那選手と共にチームで見事金メダルに輝きました。

今回、オリンピックで活躍した選手の共通点を考えると1つ目は、みんなケガや挫折、プレッシャーから這い上がってきたこと。スノーボード男子ハープパイプ銀メダルの平野歩夢選手も1年前、左膝靭帯損傷、内臓損傷という大けがをしました。女子スキージャンプ銅メダルの高梨沙羅選手もソチでは金メダル確実とも言われながら4位に終わり、今回相当の覚悟で臨みました。2つ目は、高め合うライバルに恵まれていたこと。羽生選手のライバルは、銀メダル宇野昌磨選手であり、小平選手は、高木選手、500m銀、韓国のイ・ソンファ選手、平野選手は、米国金メダルショーンホワイト選手など。3つ目、みんな声をそろえて言ったことは、コーチスタッフ、家族、ファン等応援していただいているすべての人に感謝している点です。私は今回の平昌五輪の日本選手の活躍から不撓不屈の強い精神力と感謝の気持ち、それがトップアスリートの条件であると確信しました。

新入生保護者会を開催！

2月2日(金)、本校体育館にて、新入生保護者会を開催しました。南河原小、北河原小の6年生の児童31名と保護者の皆様にご来校いただきました。開会セレモニーとして生徒会と合唱部のメンバーが校歌等、歌で新入生を迎えました。その後、先生方やPTA会長さん、生徒会本部役員が中学校生活について説明を行いました。この他、英語の体験授業に参加したり、部活動を見学したりしました。4月9日入学式、期待に胸を弾ませる新入生の皆さんを待っています。



みなさんの入学をお待ちしています！



2年生 進修館高校を見学しました！

2月7日(木)、2年生は貸切バスを利用し進修館高校へ見学に行きました。はじめに担当の先生からスライドを使って学科の特色やカリキュラム等について説明がありました。その後、3班に分かれて広大な敷地とすばらしい施設・設備を見学しました。生徒は高校へ出向き、進学・就職実績等直接話が聞けて、1年後に迫った進路について関心・意欲が高まりました。



<入賞おめでとう！(表彰の記録)>

第5回加須市中学生オープン卓球大会女子シングルス1年の部 第3位 島澤里帆
埼玉県理科教育研究発表会(児童生徒の部)
最優秀賞「環境に優しいプラスチックの研究」橋本穂乃花 宮竹沙奈
第58回埼玉県小中学校児童生徒美術展
平面の部 特選 坂井美香子 金賞 吉野暖都 江森美咲
立体の部 特選 栗原琉真 金賞 坂本 健 出川琴音 高橋昂太
第77回全国教育美術展 特選 江森音色 長谷川瑠威 塚田涼平
入選 島村樹里 玉木海帆 吉野光緒 大埜瑞季 出川琴音 福元允隆
行田市人権教育推進協議会人権ポスター展 優秀賞 大埜瑞季 入選 栗原琉真

3月の主な行事予定

1 (木) 3年県公立高校入試(学力検査)	14 (水) 卒業式準備⑤⑥
3年給食なし	15 (木) 第71回卒業証書授与式
1・2年期末テスト1日目	19 (月) 1・2年学年末保護者会 (授業参観⑤)
2 (金) 3年県公立高校入試(面接実技)	21 (水) 春分の日
1・2年期末テスト2日目	22 (木) 給食終了
卒業生と語る会(2年)	ふれあいデー (部活動なし)
5 (月) 1・2年実力テスト	23 (金) 小学校卒業式
8 (木) 音楽鑑賞会④	26 (月) 修了式
3年生を送る会⑤⑥	27 (火) 学年末休業日(～31)
9 (金) 入学許可候補者発表	4/1 (日) 春季休業日(～8)
3年給食なし	9 (月) 始業式・入学式
12 (月) 生徒会専門委員会	
13 (火) 卒業式予行③④	
3年給食終了	



学校生活に関するアンケート（生徒）結果

1 質問項目の回答結果から

※「そう思う、どちらかといえばそう思う」を合計した数値

<数値が上がった項目>

- 家庭学習を計画的に行っている。 89% (+15%)
- 部活動に意欲的に取り組んでいる。 94% (+3%)
- 自分の将来について考えたり、今の自分を向上させる生活を心がけている。 93% (+3%)
- 学校は、授業をわかりやすく楽しくしていこうと努力している。 94% (+2%)
- 学校は、授業に関して必要に応じ、実験、実習、作業、ペア活動やグループ活動の時間があり楽しく学習できるようにしている。 96% (+2%)
- 朝自習や課題テストなどに意欲的に取り組んでいる。 91% (+2%)
- 学校は、基本的な生活習慣（あいさつ・時間・服装）の指導をしっかりとっている。 98% (+1%)
- 学校は、行事や生徒会活動を通して、生徒一人一人の生きる力をはぐくむ教育に取り組んでいる。 96% (+1%)

<数値が下がった項目>

- 毎日、時間を守って、元気に学校に登校している。 94% (-5%)
- チャイム着席、教科書、ノートなど授業の用意をしっかりとっている。 95% (-5%)
- 体育の授業や体育祭など体育的行事は全力で取り組んでいる。 96% (-3%)
- 給食の時間は、準備や片づけを協力して行い、マナーを守って食べている。 97% (-3%)
- 学校は、生徒の悩みや相談に誠実に応じてくれる。 93% (-2%)
- 相手の気持ちを考えた、思いやりのある言動を心がけている。 96% (-2%)
- 清掃・係活動など、責任を持って取り組んでいる。 97% (-1%)
- 制服の形やスカート丈など服装のきまりを守っている。 98% (-1%)
- 登下校時、交通ルールを守り事故にあわないよう注意している。 98% (-1%)

<数値に変化がなかった項目>

- 学校は、道徳や学活の時間を中心に人の生き方や豊かな心について考える機会を与えている。 95% (±0%)
- 学校は、生徒の健康や安全について気をつけてくれる。 93% (±0%)
- 授業中は私語をつつし、意欲的に学習に取り組んでいる。 90% (±0%)
- 生徒会や専門委員会の活動に積極的に取り組んでいる。 92% (±0%)
- 他人をいじめない、いじめを見逃さないよう努力している。 97% (±0%)

南河原中学校に関するアンケート（保護者）結果

<数値が上がった項目>

- 子どもの家庭学習は定着してきている。 65% (+11%)
- わからないところを補習するなど、個に応じた指導がなされている。 69% (+10%)
- わかりやすい授業を行うなど、学力向上に努力している。 86% (+7%)
- 子どもは、部活動に前向きに取り組んでいる。 91% (+4%)
- 保護者への対応は誠実になされている。 94% (+1%)
- 保護者への連絡や情報提供を積極的に行っている。 90% (+1%)
- 子どもは、積極的に学校行事に参加している。 93% (+1%)

<数値が下がった項目>

- 子どもは、楽しく充実した学校生活を送っている。 95% (±0%)
- 施設・設備面での環境整備がなされている。 87% (±0%)
- 子どもは、家庭や地域でよくあいさつをしている。 89% (±0%)

<数値に変化がなかった項目>

- 子どもは、楽しく充実した学校生活を送っている。 95% (±0%)
- 施設・設備面での環境整備がなされている。 87% (±0%)
- 子どもは、家庭や地域でよくあいさつをしている。 89% (±0%)

2 成果と課題について

(1) 成果

- 全体を通して、ほとんどの項目において「そう思う、どちらかといえばそう思う」の数値が90%を超えている。
- 最も注目できることは、生徒、保護者共に「家庭学習を計画的に行っている。89% (+15%)」「子どもの家庭学習は定着してきている。65% (+11%)」の項目が昨年度に比べ二桁アップと高い評価となった。教師の毎日のねばり強い指導や今年度から始まったホームページにリンクしたeライブラリーにおける家庭学習システムの活用が成果の理由としてあげられる。
- また、保護者は「わからないところを補習するなど、個に応じた指導がなされている。69% (+10%)」「わかりやすい授業を行うなど、学力向上に努力している。86% (+7%)」について、教師の学力向上に向けた取組を高く評価している。

(2) 課題

- 生徒の評価の下がった項目として「毎日、時間を守って、元気に学校に登校している。94% (-5%)」「チャイム着席、教科書、ノートなど授業の用意をしっかりとっている。95% (-5%)」と昨年度に比べ低い評価となった。昨年度両項目の評価は99%、100%と高い評価であった点を考えると今年度もほとんどの生徒が肯定的に捉えていると言える。しかし、時間厳守等学習規律の徹底について見直していくことが必要である。
- 保護者の評価の下がった項目として「子どもの悩みや相談に親身に応じている。77% (-6%)」があげられる。同様の生徒の項目「学校は、生徒の悩みや相談に誠実に応じてくれる。93% (-2%)」も評価が下がっている。やりとり帳、家庭学習による生活ノート等を活用したり、授業の様子、休み時間、部活動等の様子を常に観察したりしながら生徒の心の変化をつかみ、悩んだ時に相談にのることができるよう学級担任、学年、部活動顧問、さわやか相談員、スクールカウンセラー等全校体制で対応していきたいと考える。

3 まとめ

- 全体を通して、成果でも述べさせていただいたが本校の取組としてはおおむね満足できる評価となったと考えられる。しかし、上記課題点もあげられ、改善に向けて一層の取組が必要である。
- 本校の目指す学校像「美しく、よさやとりえを伸ばし、笑顔あふれる学校」であり、校長の経営方針「生徒が主役」「チーム南河原中」「家庭・地域との連携・協力」の3本柱により全校をあげて具現化に取り組んできた。保護者評価「一人一人の意欲やがんばりを認めるなど、子どもを励ます指導がなされている。75% (-2%)」については予想以下の評価となった。また、「学校の施設や活動を保護者や地域に積極的に公開している。94% (-1%)」についても昨年度以下であった。
- 今年度着任し、生徒のよさやとりえを伸ばすため、善行賞であるポプラ賞を企画したり、PTAの理解を得てホームページをリニューアルしたりして、生徒、先生、地域の活動の様子、活躍の様子を随時、更新し認め称えてきた。こうした取組が今後さらに周知され浸透されるよう来年度もしっかり取り組んでいきたい。

4 おわりに

アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。保護者の皆様からいただいた評価の結果、ご意見、改善策につきましては、来年度の学校経営に生かしてまいります。今後とも本校の教育活動について一層のご理解・ご協力をお願いいたします。